



ICIS2026の様子(ポスターセッション)

▶ 国際会議 ICIS2026 を共催、日越大学講師が若手研究者最優秀賞

6月2日・3日に、日越大学・早稲田大学・Deakin University（オーストラリア）の3大学の共催により、第2回 International Conference on Innovation and Sustainability (ICIS2026) が、ハノイ市および Thái Nguyên 市にて開催されました。今回は「高等教育における国際化と持続可能性」をテーマに、ベトナム・日本・ドイツ・オーストラリア・インドネシア・米国など約10カ国から120名以上の研究者・教育者・大学関係者が一堂に会し、約40件の研究発表が行われ、グローバルな教育連携の在り方を多角的に議論しました。

日越大学からも多くの教員が ICIS2026 で発表を行いました。中でも、日本語教育プログラムの Nguyễn Thị Thùy Dung 先生は JST さくらサイエンス交流プログラムへの参加が学生に与える影響を定性的な手法で分析し、1週間の短期国際交流でも文化理解・自己成長・キャリア志向に前向きな変化をもたらすことを明らかにした研究で「若手研究者最優秀口頭発表賞」を受賞しました。

今月号の内容

- 国際会議 ICIS2026 を共催、日越大学講師が若手研究者最優秀賞
- 日本人研究者が20年の調査をベトナム語論文に結実
- 国際協力機構 (JICA) 田中明彦理事長がベトナム国立大学ハノイ校 (VNU) および日越大学を訪問、10年の歩みを評価
- 日本語教育プログラム JICA 専門家 山川史先生のご紹介
- 学部グローバル開発とイノベーションプログラムの学生がドイツ・日本の大学と国際学術・文化交流イベントを企画・運営
- 日越大学大学院出願受付中！
- 2026年度日越大学学生研究発表大会を開催！

▶ 日本人研究者が 20 年の調査をベトナム語論文に結実

6月7日、日越大学の修士課程地域研究プログラム（MAS）ベトナム学専攻に在籍する八木 規子さんが、最終論文審査に臨みました。論文タイトルは「空間秩序と社会的容認：ハノイ旧市街における物売りの実践」で、全文ベトナム語で執筆されました。外国人研究者としての卓越した語学力と、現場への深い洞察が審査委員会から特に高く評価されました。

八木さんは約20年にわたってハノイ旧市街で路上商売人たちを観察し、地縁的ネットワーク・暗黙の空間秩序・都市行政との共存関係を丹念に記録してきました。研究の核心は「なぜ行商は都市管理が進むハノイでも存続し続けるのか」という問いで、八木さんは「不干涉の精神（Kệ）」や「縁（Duyên）」といった精神的理念が都市空間において機能し、競争を抑制する自己調整メカニズムとして働いていると論じました。



▶ 国際協力機構 (JICA) 田中明彦理事長がベトナム国立大学ハノイ校 (VNU) および日越大学を訪問、10年の歩みを評価

国際協力機構 (JICA) 田中明彦理事長が、ベトナム国家大学ハノイ校 (VNU) でのメディアの取材に応じ、日越大学の教育モデルについて言及しました。田中理事長は「日本の7つの主要大学が直接カリキュラム構築に参加してきた」と述べ、日越大学が設立から10年以上にわたって積み重ねてきた実績を、日越両国間の高等教育・人材育成協力の代表的な成果として位置づけました。



日越大学は日本政府・JICAの支援を受けながら、国際水準の大学院・学部プログラムを展開し、現在では大学院9プログラム・学部9プログラムを擁するまでに成長しています。設立以来、日本の複数の主要大学との教育連携によって、カリキュラム設計から教職員研修・学術交流まで一体的に推進してきた点が、今回の評価の背景にあります。

(参考：[VNU 記事](#))



日本語教育プログラム JICA 専門家 山川史先生のご紹介

今月号では、日本語教育プログラムを支援している山川史先生に研究内容や日越大学での活動内容などについてお話を伺いました。

先生の研究分野について教えてください。

私の専門は日本語教育学です。主に日本の大学で学ぶ留学生を対象に、ライフストーリー・アプローチを用いた研究を行ってきました。留学生が日本で形成するネットワークや日本語使用の実態、その経験の意味づけや成長へのつながりを探究しています。私自身、大学時代にエジプトに留学し、日本や異文化、自分自身への理解を深める機会を得ました。この経験から、留学は語学学習にとどまらず、人との出会いや新たな経験を通して自己理解を深め、その後の人生に影響を与えるものだと実感しました。現在は、留学や学習者の成長に関する研究を発展させ、学習者一人ひとりの人生を豊かにし、社会のウェルビーイングに貢献する日本語教育の可能性を探究しています。

日越大学の専門家に着任する前は何かをしていましたか。

日本の北海道にある小樽商科大学で准教授を務め、学内唯一の日本語教育専門教員として、プログラム運営や留学生支援、国際寮の構想など幅広い業務を担当していました。その前には、東洋大学で留学生を対象とした授業を担当し、フィールドワークを通して地域社会との関わりを生かした経験的学びを重視していました。さらにそれ以前には、アメリカのウィリアムズ大学やハーバード大学で教鞭を執っていました。そこでは、盲導犬を連れた学生など実に多様な学生たちと日々向き合うとともに、「和太鼓パフォーマンス」などの文化交流の機会づくりにも取り組んでいました。こうした経験を通して、多様性を尊重する視点と、

人の成長を支え、より良い社会の実現に貢献する教育の意義を強く認識するようになりました。これらの経験は、現在の日越大学における活動の基盤となっています。



上級日本語の学生たちと、授業最終日に

日越大学の日本語教育の JICA 専門家としてどのような活動を行われていますか？

学部・修士・博士課程における日本語教育に関わる活動を行っています。授業や研究指導に加え、ベトナム人教員との共同研究、カリキュラム・教材開発、教員研修などを通して、教育・研究・運営の質向上に取り組んでいます。特に、2025 年に開設された博士課程では、次世代の日本語教育研究を担う研究者の育成を目指し、教育研究基盤の整備を進めています。日本語教育は単なる語学教育ではなく、人材を育成し、新たな知を創造し、社会の発展に貢献する営みです。日越大学がベトナム、東南アジア、さらには世界の日本語教育を牽引する教育研究拠点となるよう、他の JICA 専門家や教員、スタッフと協働しながら取り組んでいます。

▶ 学部グローバル開発とイノベーションプログラムの学生がドイツ・日本の大学と国際学術・文化交流イベントを企画・運営

6月8日に日越大学 Hòa Lạc キャンパスで「学部グローバル開発とイノベーションプログラム (BGDI) 学生交流イベント 2026」が開催されました。BGDI の学生が、Evangelische Hochschule Berlin (EHB、ベルリン福音主義大学、ドイツ) および立命館大学の教員や学生を迎え、学術交流・文化体験・グループディスカッションを行いました。「持続可能な開発」「グローバル社会における市民の役割」などのテーマで議論が交わされたほか、EHB の Christian 教授によるシアター・ペダゴジー（演劇的教育法）のセッションも実施されました。

特筆すべきは、BGDI の学生たちが単に参加するだけでなく、MC・進行・文化紹介など運営の中心を担った点です。突発的な音響トラブルにも臨機応変に対応した Thảo Hiền さんや Ninh Bình (Tràng An)・ハノイ (Đường Lâm 村) での文化案内を引き受けた Phương Trang さんのように、学生が主体的に国際交流を牽引しました。この一連の活動は、日越大学が掲げるグローバル人材育成の理念を実践する貴重な機会となりました。



日越大学大学院出願受付中！

日越大学では修士課程プログラムには社会のニーズに応じた9分野のプログラム(コンピュータサイエンス&エンジニアリングプログラム、環境工学、社会基盤、ナノテクノロジー、気候変動・開発、地域研究(ベトナム学、日本学)、企業管理(MBA)、公共政策、グローバル・リーダーシッププログラム)があり、ハノイ市内に近いミーディンキャンパスにて英語で開講しています。ベトナム人、日本人を含む多様な国籍や職種の方が集う大学院のネットワークの中で、修士の学位を取得することができます。さらに、昨年度は新たに博士課程日本学・日本語教育プログラムを開講しました。現在、2026年秋入学の出願を受け付けています。詳細は日越大学 Web ページをご確認ください。

- 修士課程プログラム: <https://vju.ac.vn/en/masters-admissions-information-2026/>
- 博士課程プログラム: <https://vju.ac.vn/en/japanese-studies-doctoral-program/>

▶ 2026 年度日越大学学生研究発表大会を開催！

5月28日、日越大学 Mỹ Đình キャンパスで「2026 年度日越大学学生研究発表大会」が開催されました。毎年恒例のこの大会は、学生の研究精神を育て、学術的な発表・討論の力を磨く場として定着しており、今年も人工知能・データサイエンス・スマート農業・社会科学など様々な分野から意欲的な研究が集まりました。

今年度は1等賞2件・2等賞1件・3等賞1件が授与されました。1等賞には Nguyễn Cảnh Hưng さん（指導教員：Lê Kim Quy 先生）による「Python と Blender を活用した 3D ラティス構造の自動生成」と、Trần Huy Dương さん（指導教員：Tạ Kim Nhung 先生）による「ベトナム在来種イネの糠色素に関するゲノムワイド関連解析」が選ばれました。2等賞は Nguyễn Đức Hiếu さん（指導教員：Lê Kim Quy 先生）によるレーザー粉末床溶融プロセスの多層熱シミュレーション研究、3等賞は Đỗ Thị Phương さん（指導教員：Phạm Thị Thu Giang 准教授）による「1960 年代以降の日本のごみ分別意識・行動の変容とベトナムへの示唆」がそれぞれ受賞しました。工学・農学・社会科学という異なる専門分野の研究が一堂に会するこの大会は、学際性を大切にする同大学の研究文化を体現する場となっています。

Trần Huy Dương さん、Nguyễn Đức Hiếu さんは昨年も入賞しており、その研究は海外での学会発表や教育訓練省からの表彰につながりました。[\(2025 年 5 月号、2025 年 11 月号\)](#)



入賞した学生たち

■ 日越大学の情報発信

日越大学ホームページ

<https://vju.ac.vn/>

日越大学 Facebook

<https://www.facebook.com/vnu.vju/>

JICA プロジェクトページ（ODA 見える化サイト、メルマガのバックナンバーもこちらから）

<https://www.jica.go.jp/oda/project/1901195/index.html>

■ 産学連携・採用に関する問い合わせ

E-mail: cooperation@vju.ac.vn

■ メルマガに関するお問い合わせ

E-mail: mail.magazine@vju.ac.vn

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクトメルマガ編集部

【メール配信停止・変更】

配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、上記問い合わせ先までメールにてご連絡ください。

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト